



Asian Children's Care League

Cure and Care of Childhood Cancer

"connecting with hope for the future"



平原綾香様

この度は、「Jupiter 基金」の設立おめでとうございます。そしてその基金による初めてのチャリティーコンサート「My Best Friends Concert ～ 顔晴れこどもたち～」の開催をとおして、その収益の一部を当法人（ACCL）の活動にご支援をいただけるとのこと、誠にありがとうございます。

ACCL は、未来ある子どもたちに笑顔をとという目標を掲げ、発展途上国の小児がんの子どもたちが適切な治療・ケアを受けることができるよう、2005 年に立ち上げた団体です。「国境を越えた小児がんのキュア&ケア」をモットーに、現在はベトナムをはじめ、アジアの小児がんの子どもとそのご家族への支援を中心に活動しております。

日本では子どものがんはいまや、10 人中 8 人が治る時代になりましたが、発展途上国においては、未だ 10 人中 8 人が適切な医療が受けられず亡くなっている状況にあります。

会を設立した当初は、ベトナムにおいても、小児がんは不治の病でした。そこで、ACCL では専門医や看護師の育成、病院内の環境整備のほか、小児がんの患児・ご家庭への経済的支援、家族の会の設立などの活動に力を入れてまいりました。地道な活動を 10 年継続させた結果、現在はベトナムでも 10 人中 7 人の子どもの命が助かるようになりました。ただ、いまなお、経済的な貧しさや知識の乏しさから適切なケアを受けられない子どもが多くいます。また、たとえ治療にたどりついていても残念ながら亡くなっていく子どもたちもいます。子どもを亡くした親ごさんたちのために、ACCL では慰霊祭や遺族会なども主催しております。さらなる治癒率向上、一人でも多くの子どもたちが適切な治療を受けられるよう、早期発見や啓発活動、国レベルでの医療環境整備のプロジェクトを進めているところです。

平原綾香さんと ACCL とのご縁は、2011 年に私たちが開催したチャリティーコンサートでした。私自身が大ファンであり、その美しい歌声で、天国に旅立った子どもたちの魂を慰めてもらえたら、どんなにすばらしいかと、無謀にもご出演をお願いしたところ、平原さんは快くお引き受けくださいました。音楽を通して、未来への勇気と希望を多くの皆さまに届けていただき、私自身も魂が震えるような感動で涙がとまらなかったことを、昨日のこのように覚えています。



Asian Children's Care League

Cure and Care of Childhood Cancer

"connecting with hope for the future"



あれから 4 年…今度は平原さん御主催でこのような趣旨のチャリティーコンサートを開催され、また ACCL をご支援いただけることになり、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。今日会場におみえの ACCL の支援者の中には、お子さんをごんで亡くされた親御さんもいらっしゃり、平原さんの歌声を聴けること、とても楽しみになされています。

そして平原さんの歌声を楽しみにしているのは、ベトナムの闘病中の子どもたちも同じです。子どもたちは歌が大好きです。病棟でも歌を歌うことで、自然と笑顔が湧き、日々を過ごす大きな力となっています。子どもたちにとって、日本のお姉さんである平原さんの歌声は、このコンサートのタイトルどおり“顔が晴れやか”になるエネルギーとなることでしょう。

4 年前も、その歌声に涙が止まらなかった私ですが、今回も開催前から胸があつくっております。その美しい歌声が天国にいる子どもたちにも届きますように、そして闘病中の仲間たちが病気を克服し、笑顔で家族と一緒に成長していくことができますように…と祈りをこめながら、本日のコンサートを楽しみたいと思います。

平原さん、そして Friends の皆さまから頂いた力を、必ずや子どもたちやそのご家族にもフィードバックしてまいりたいと思います。

本日は、本当におめでとうございます、そしてありがとうございます。

2015 年 12 月 12 日

認定 NPO 法人アジア・チャイルドケア・リーグ (ACCL) 代表 渡辺 和代

